

## 賛助会員加入と寄附金のお願い

- 賛助会員年会費 個人(1口) 3,000円(1口以上)  
団体(1口)10,000円(1口以上)
- 年会費・寄附金振込先  
郵便振替口座番号: 02200-9-110330  
郵便振替口座名義: 認定特定非営利活動法人  
パンダハウスを育てる会
- ※ 他金融機関から、郵便振替の場合  
店名 二二九(二二キユ)店 当座預金 0110330

## 29年度活動紹介



医大バザー



羽鳥湖マラソンバザーで参加



'リレーフォーライフ'に  
参加



第7回通常総会



クリスマス  
プレゼント

クリスマスプレゼント配布  
(許可を得て掲載しています)



## 平成30年度活動紹介(予定)

- 花植え: 5月・11月
- 川内の郷かえるマラソン大会にバザーで参加: 4月28日
- バザー(福島医大病院): 8月・12月
- バザー(会津医療センター): 5月・10月
- クリスマスプレゼント作成: 7月~12月
- イオン黄色いレシートキャンペーン: 毎月11日

## スタッフ紹介

理事長	山本 佳子		
理事	安齋 豊子	石井 佳世子	伊勢谷 愛理
	伊藤 五十子	菊田 洋子	古関 令子
	鈴木 幸恵	鈴木 正子	清野 博子
	高橋 容子	千葉 篤子	古満 陽子
監事	齋藤 敏昭		
アドバイザー	梅津 茂巳	菊田 敦	菊地 健一
	佐藤 崇	芳賀 裕	目黒 文子
	横田 照彦		
ハウスマネージャー	津田 郁子		
相談員	森 千香子	萩原 智恵子	

## 募金箱設置のお願い

募金箱を設置していただける所を  
募集しております



募金箱設置箇所 (敬称略・50音順)

会津医療センター / あきもと整形外科クリニック / 嵯峨山建材 (2個) / 尚アクセラ  
リワタナベ / あずま通りクリニック / 尚我妻自動車整備工場 / あとろえ悠然 / 尚  
アメリカン美容院 (2個) / 新田目病院 / ありがとうクリニック / 尚アルファオート / 尚  
安藤自動車整備工場 / 尚五十嵐モーターズ / 尚石井実業 / 尚石井接骨院 / 尚石畑  
自動車 / 尚イチユウオート / 尚伊藤製作所 / 尚井上 慎一 / いわき健康センター / 尚  
ウエディングエルティ / 尚氏家 洋子 / 尚梅津自動車販売 / au ショップ吉吉 / エクス  
ターメディカル(尚) / 尚エフコム (2個) / 尚エムズファクトリー / 尚社会福祉法人桜寿会  
尚オートショップ福島 / 尚小島自動車 / 尚公立小野地方総合病院 / 尚おひさま子供ク  
リニック / 尚カーサービスこんの / 尚カーテンタケダ(尚) / 尚絵工堂 (2個) / 尚社団  
療法法人かしま病院 / 尚の谷 / 尚加藤モーター商会 / 尚かたま鍼灸整骨院 / 尚上松川診  
療所 / 尚川村自動車販売 / 尚北会津自動車 / 尚の里 / 尚共栄水産 / 尚極東不動  
産 / キフニスクラブ (2個) / 尚技研オート / GUITAR SHOP Nevermind / ケアタ  
ウンひまわり (2個) / Co-ba KORIYAMA / コゼット / 尚金剛院 / 尚コンピューターシ  
ステムハウス / 尚斎藤オート / 尚齋藤 一子 / サイトウ洋食店 / 尚佐々木自動車 / 尚  
三伸自動車販売 / 尚税理士法人三都会計事務所 / 尚サンライズ / ザ・ホテル大亀 / 尚  
志緒里 / 尚松北町会 / 尚ジューワタイヤ福島販売 / 尚JU 福島 (14個) / 尚常泉寺 / 尚眠  
館雅貴 / スエゾーカフェ / 尚杉内自動車整備工場 / 尚鈴木 牧子 / ストライカーメッド  
ク(尚) / スリムグループ / 尚精華苑 / 尚太陽自動車 / 尚高萩自動車工業 / たかば接骨  
院 / 尚第一印刷 / 尚大久自動車販売(尚) / 尚鶴ヶ城会館 / 尚テックス / デザイ  
ンスタジオガリ / 尚東栄物産 / 尚東京マイカー販売 (3個) / 尚東部ガス(尚) / 尚東邦自  
動車 / 尚東北自動車販売 / 尚東北スバル自動車販売 / 尚同仁社 (3個) / 尚中合 /  
尚なかゆく / 尚医療法人永井歯科医院 / 尚西田 雪佳 / 尚日栄自動車商会 / 尚日産サテ  
オ福島 / 尚日本ストライカー(2個) / 尚ネオビューティーアポロほうらい / 尚ハイアッ  
ジ (3個) / 尚花の店フローラ / 尚harima 美容室 / 尚はるプランニング / 尚パールアウ  
エニール / 尚日野屋楽器店 / 尚ファイブ・コーポレーション / 尚福島医大病院こども医療  
センター / 尚福島医療専門学校 (4個) / 尚福島片岡徳太郎美術庭園 / 尚福島県住  
宅生活協同組合 / 尚福島県消費組合 / 尚福島コミュニティ放送( FM ポコ) / 尚福  
島自動車流通センター / 尚福島水産物産協同組合 / 尚福島地域開発 / 尚福島日  
自動車 / 尚福島ロータリークラブ / 尚富士ゼロック福島(2個) / 尚ヘアサロンさ  
んかく / 尚ベコカップ実行委員会 / 尚ベル / 尚ホテル辰巳屋 / 尚保原モーターズ(2個)  
尚 / 尚本設備工業 / 尚マイカーセンター山城 / 尚マイカーセンター渡辺 / 尚政井 香  
代子 / 尚まちづくりコミュニティせね / 尚丸進自動車 / 尚まんてん堂こどもクリニック  
尚 / 尚三島自動車 / 尚医療法人内科消化器科みつはし医院 / 尚南会津町社会福祉協議会  
尚 / 尚医療法人むかわクリニック / 尚メイプル接骨院 / 尚メディカルファクトリーオー  
薬局 / 尚メディカルファクトリーわかば薬局 / 尚尚通八幡 (2個) / 尚盛岡屋分店 / 尚  
梁瀬モーター / 尚ヤマザキ自動車販売 / 尚山家整形外科 / 尚ウアテック福島支社 /  
尚学校法人有朋学園 / 尚よしなり / 尚四輪販売福島 / LIGHT THE FIRE / 尚一般社団法  
人ライフク実行委員会 / 尚ら・さんたランド / 尚リトルウィングレディーズアパレル /  
尚れがーる SHOES & FASHION SALON Regalo / 尚ロアフォルジ司法書士事務所  
尚 / 尚渡清 / 尚渡辺健寿法律事務所 / 尚渡辺自動車 / 尚渡部 優 (H30.2現在)

皆様のご協力ありがとうございます

収支報告 (H28.10.1~H29.9.30)		(単位 円)	
科目	金額	科目	金額
I. 収入の部		II. 支出の部	
会費収入	2,023,000	事業費	16,845,634
寄附金収入	15,770,631	管理費	1,860,545
事業収入	1,982,308	建設関係等一部支払い金	90,446,823
助成金収入	21,187,525	積立基金	14,236,743
その他収入	326,888	次期繰越	11,997,387
基金取崩	84,742,615	支出の部 合計	135,387,132
前期繰越	9,354,165		
収入の部 合計	135,387,132		

**編集後記**  
寒い冬もすぎパンダハウスの花壇の花たちが咲き誇り春の香りを  
感じるこの頃です。日本財団の助成金をうけハウスの改築も完  
成しました。また新たなスタート  
です。どうぞ今後ともみなさまの  
ご支援よろしくお願い致します。  
編集担当: 古関令子

\*このNews Letter は、日本財団の助成金により作成しております。



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

発行 認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局  
TEL & FAX 024-548-3711  
〒960-8157 福島県福島市蓮葉町八丁目15番地1

E-mail office@pandahouse.org  
HP http://pandahouse.org  
blog http://pandahouse.sblo.jp  
facebook https://facebook.com/npo.panda.house

## News Letter

2018年3月  
VOL.6 正会員数:55(団体6,個人49)  
賛助会員数:301(団体37,個人264)  
(H29.9.30現在)

## 理事長あいさつ

理事長 山本 佳子

今年の春は、かねてよりの念願が叶い、「新生パンダハウス」  
として居室は一時期の2倍以上の7室で、みんなのホールや相談  
室まで備えたハウスとしてオープンすることができます。皆様  
のお気持ちがたくさん入った昨年完成した増築棟は、既にご家  
族の方々に広々ゆったりと和やかにご利用いただいています。

その上、この度日本財団様のご支援をいただき、震災で傷  
んだ旧棟の建て替えをすることができたのです。新棟のお部屋  
は長期滞在の方や、感染に特に配慮しなければならない方にも  
お使いいただけるように、バス・トイレ付きのお部屋となっ  
ています。また「みんなのホール」は、キッチン付きの多目的ホ  
ールとして闘病中のご家族同士の交流会や外来に通院中の当事  
者の方などにもご利用いただけるように配慮いたしました。退  
院後ばらばらになった子どもたちやその家族の方々も、気軽  
に集い一緒にお茶や軽食を料理したり食べたりしながらゆた  
りとした時間を過ごしていただければと思っています。

パンダハウスの相談員も4月から福島県立医科大学附属病院  
の職員として患者サポートセンターに入ることとなりますが、ハ  
ウス内の相談室にも県内の情報等をご準備し、退院後の地域  
での困りごとや不安を感じた時などご利用いただけるように  
と準備しております。

厚生労働省の「慢性的な疾病を抱える児童及びその家族の負  
担軽減及び長期療養をしている児童の自立や成長支援につい  
て、地域の社会資源を活用するとともに、利用者の環境等に  
応じた支援を行う」目標のもと「小児慢性特定疾病児童等自立  
支援事業」が実施されていますが、パンダハウスでも微力では  
ありませんが、病気を乗り越え、または病とともに生活する子ども  
とその家族が「地域で安心して生活できる」ことを目指し、子ども  
の成長に応じ長期的で切れ目のない支援を新生パンダハウスを  
拠点として活動していきたいと思っています。

今回、日本財団の「難病の子どもと家族を支えるプログラム」  
で同じ志を持った全国の方々と交流の機会を与えていただき  
ました。その出会いが今私たちの大きな力となり、全国の仲間  
たちと手を携え、新しい支援に歩を進めて行こうとしています。

さらに今年度も「新生パンダハウス」の基盤固めとして継続  
して日本財団様にご支援いただけることが決定しました。1年  
1年力を尽し、この活動が長く皆様と共に続くものとなるよ  
うに、頑張っていきたいと思っています。

人生の初めに、または途中で病のための大きな生活の変化を  
経験された方々が、闘病中のたくさんのストレスを乗り越え、そ  
れを凌駕することの先に、成長発達するためには、周囲からの  
多くの方々の見守りやご支援が必要かと思えます。

パンダハウスの活動も含め、多くの皆さんにこの活動を引き  
続き応援していただければと思います。どうぞ、よろしくお願い  
いたします。

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

### 日本財団の「難病の子どもと家族を支えるプログラム」の一環で

医療的ケアにも対応した地域連携ハブ拠点  
支援をうけて  
改築棟がついに完成!!

オープニングセレモニー内覧会開催

日時 2018年4月21日(土) 13:30~16:00

場所 パンダハウス「みんなのホール」

オープンハウス

日時 4月22日(日)・23日(月) 10:00~15:00



## いつもサポートありがとうございます

福島県立医科大学附属病院  
病院長 齋藤 清

パンダハウスの皆様、1997年にオープン以来、当院で治療を受けるお子様とそのご家族に対するサポートを本当にありがとうございます。福島県立医科大学附属病院には、小児がんなど長期の治療が必要な多くのお子様が全国から来て入院しておられます。自宅から離れて難しい治療を受けているために精神的にも負担が大きいのですが、パンダハウスが「病院近くの我が家」のように安らぎの場を提供して下さるので、皆様とても助かっていると思います。

私が2009年に名古屋から着任し蓬萊の官舎に引っ越した時、すぐ近くに素敵な家があるけど何だろう？洒落た造りの家で、いつも花が綺麗に咲いていて、桜の時もとても綺麗で...と思ったことをよく覚えています。脳神経外科でも遠方から治療に来られる患者さんが時々おられ、パンダハウスが空いていればご家族の宿泊をお願いしております。また、ま

れに海外からの患者ご家族をお願いしたこともありましたが、皆様とても感謝してお帰りになりました。

昨年には皆様のご支援のおかげで念願の増築が完成し、さらに多くのご家族をサポートしていただけるようになりました。また、一昨年末にみらい棟がオープンして、医大病院が福島県における子ども病院の機能を担うことになりました。さらに昨年には、血管撮影と手術が同時にできるハイブリッド手術室、手術中に最新のMRIで撮影ができるMRI手術室、清潔度の高いバイオクリーン手術室を備えた高機能手術室も増築されました。これまでに増して多くのお子様を医大病院で先進治療を受けることになると思います。パンダハウスを育てる会の山本理事長、ボランティアとしてパンダハウスを守っていただいている皆様、またパンダハウスを支援していただいている全ての皆様に、病院長として改めて感謝申し上げます。

多くの患者ご家族がパンダハウスで心休まる時間を共有できるように、これからも皆様のご支援をよろしくお願いたします。

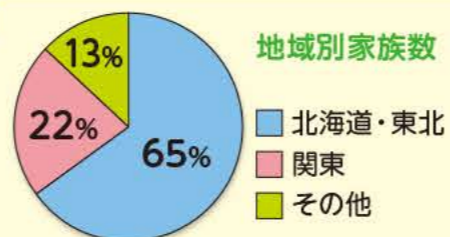
### 平成29年度パンダハウス稼働状況

オープンから現在までの利用者数  
(H9.10.1~H29.9.30)

家族数	5,231家族
延べ人数	30,231人

平成29年度利用者数  
(H28.10.1~H29.9.30)

家族数	414家族
延べ人数	2,363人
稼働率	108%



### 利用者の声

遠方より半年に1度検査のために来ております。ホテルに泊まるより娘も私もくつろぐことができ、本当にありがたいです。1度予約がとれずホテルに泊まったら娘に泣かれました。新しくなってより快適に過ごすことができました。ありがとうございました。

新しくなってから初めての利用でした。とってもきれいで、広くて、設備も充実していて快適に過ごすことができました。大きなクリスマスツリーやおもちゃも沢山あり、娘も大喜びで、あきることもなく、ずーっとルンルン♪でした。うるさかったかもしれませんが、すみません。スタッフの方も優しく対応してくださり、また、オムツも頂きとても助かりました。ありがとうございます。今回は急ぎよ1泊だけの利用になってしまいましたが、娘はもっと泊まりたかったと思います。

移植後のフォローアップ外来で岡山から定期的に医大に通う際、いつも利用させてもらっています。今回初めて新しくなったパンダハウスを使わせていただきました。来る前からワクワクしていましたが、期待通りの温かい雰囲気そのままのハウスでした。子ども達も笑顔で楽しくすごせました。今回は初めて弟もつれてきたので、騒がしくしてしまい他の利用者さんにも申し訳ない気持ちです。治療中(約1年前)からずっと利用してきた、以前のパンダハウスが壊されているのを横で見るのは少しさびしい気持ちもしましたが、今後もパンダハウスが新しくなり、私たちも含め多くの患者やその家族の皆さんをあたためたい気持ちにさせてもらえたいと思います。期待して完成を待ちたいです。スタッフの皆様、いつも気持ちよく利用させていただける心くばりをして下さっていて、ありがとうございます。



### 第67回 河北文化賞受賞

難病と闘う子どもとその家族を支援する活動で  
地域医療に貢献による受賞



とうほう地域総合研究所の阿部隆彦理事長様からのご推挙をいただき、長年のパンダハウスの活動が認められ栄えある「河北文化賞」をいただくことができました。

受賞贈呈式は1月17日(水)、仙台国際ホテルにて行われた式式に出席させていただきました。この度の受賞は、多くの皆様にパンダハウスの活動をお支えいただいた賜物と心より皆様に感謝申し上げます。すばらしい河北文化賞受賞を糧にこれからも頑張って参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 第18回 JHHHネットワーク会議に参加しました

2017年10月21日・22日に愛媛で全国のハウス運営者が集まりました。

特定非営利活動法人ラ・ファミリエが運営する「ファミリーハウスあい」と「ジョブサロン」を見学してお話を聞き一人ひとり大切に活動の取り組みについて学ぶことができました。また分科会では、「ハウスを取り巻く環境」「病院との連携」「ボランティア」「わが家らしいハウスづくり」の4つのテーマで各団体の取り組み方や課題など様々な意見の交換をしました。そして全国のハウスの動向などを共有しました。

JHHHネットワーク会議とは...  
日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス・ネットワーク(JHHHネットワーク)は、入院している子どもとその家族が利用できる「病院近くのわが家」を運営している団体の全国ネットワークです。それぞれに独立して活動しているホスピタル・ホスピタリティ・ハウスがお互いにノウハウを共有し、運営の質的向上を図る目的で連携しています。

### 増改築の完成に伴い ボランティア大募集!

パンダハウスでは、ハウスの増改築完成でボランティアさんのお力を必要としております。ボランティア活動に関心がある方は、是非お問い合わせください。

お問い合わせ TEL・FAX 024-548-3711  
事務局またはメール E-mail office@pandahouse.org

お仕事内容 ●ハウスのお掃除 ●庭の手入れ(花植え、草むしり) ●バザーなどのイベント ●クリスマスプレゼント作り ●パンダバッジ作りなど



### パンダハウスとの出会い

ボランティア 金剛院婦人会 中村 トク

私達は金剛院婦人会として、東日本大震災後、いろいろなボランティア活動にかかわらせていただきました。自分達にも実現出来る様なボランティアは無いらうかと考えていた矢先、病と闘っておられる家族と子どもさんが安心して心がやすらぎ滞るにできる様に、もうひとつのわが家でありたいとの思いで創設されたパンダハウスの存在と同時にボランティア募集を知りました。早速、訪問させていただきました。自然豊かな環境の中に建設されたハウスのたたずまいと、玄関に足を一歩ふみ入れた雰囲気は、「お帰りなさい」と声が聞こえてくる様なやさしさに満ちあふれていました。室内に備えられた備品、おもちゃ等はボランティアの方々の手作りであつたり、人々の好意で寄せられた品々であるとか。理事長様やスタッフの方ともお会いして、開設から今までの道のり、利用される方々の事情を伺い、皆様の思いが届きます様にとおぼろげにはいられませんでした。

早速会に持ち帰り、金剛院の奥様のご指導とアドバイスをいただきながら、私達の能力ですぐに継続して実行できる事はお掃除ということになり、会員に呼びかけ協力をお願いしました。現在27人が登録し、無理なく都合のつく人2~4人のチームで月2回のペースで実施しております。往復1時間はかかりますので、こちらの都合で

(降雪など)日程を変更したりご迷惑をおかけすることもあり申し訳なく思いながら、スタッフの皆様のご理解をいただき楽しく通っております。活動を始めてから4年余り、会員一同、初めての仕事ということで緊張しながらの作業でしたが、少しずつ慣れて手際も良くなり、「利用者の方に少しでもゆくり休んでいただきたいね」と心地よい汗をかきながら帰路につける様になりました。活動を実施するに当たり会員の同意を得られるかどうかと不安はありましたが、「思いはあっても行動は出来なかったので声をかけてもらって感謝している」とのお話をいただき、安心した事を思い出します。実際、私もパンダハウスに通うことで病と闘っておられるご家族を肌で感じながら、同居している孫の成長と共に全ての子ども達の将来に幸多かれと思いつつ、自分が励まされております。ありがとうございます。

この頃は、いつ伺ってもハウスにある部屋は満室の時が多く、全国各地から寄せられる要望に応えるために増改築をめぐりまして翻弄されておられる理事長様、スタッフの皆様にご敬意を表してペンを書きます。

